

財団法人 国際耳鼻咽喉科学振興会
平成 20 年度 (2008 年度) 事業報告

(項目)寄附行為(定款)第 4 条に基づき下記の事業を行った。

1. 理事会及び評議員会を開催した。(20 年 5 月 27 日及び 21 年 3 月 24 日)
2. 第 109 回日耳鼻総会時(20 年 5 月大阪)に SPI0 クラブを開設し、SPI0 の広報活動を行うとともに、会員相互の交流を図った。
3. 国際学会等(31 件)へ助成をした。別紙「助成学会一覧」参照
4. 研究助成金として、耳鼻咽喉科学及び関連分野における優れた外国人若手研究者を公募し選考委員会において審査した結果、4 名に助成金 30 万円を交付した。
 - (1) Majid Mohamed Safwat Hafez Mahmoud (エジプト) 名古屋市立大学(指導:村上 信五 教授)
研究テーマ:顔面神経麻痺モデルを用いた中枢レベルでの NF- B の機能解析とその治療応用の可能性の探求
 - (2) 婁 鴻 飛 (中国) 東京医療センター (指導:加我 君孝 感覚器センター長)
研究テーマ:前庭筋電位(VEMP)を用いた人工内耳患者の前庭機能の可塑性に関する研究
 - (3) Kannika Roongrotwattansiri (タイ) 日本医科大学 (指導:八木 聡明 教授)
研究テーマ:鼻茸発生の初期段階および構造変化/再構築の機序
 - (4) Zainal Adhim (インドネシア) 神戸大学 (指導:丹生 健一 教授)
研究テーマ:キャリアー細胞を用いた頭頸部癌に対する遺伝子治療の開発に関する研究
5. 戸田 SPI0 奨学金として、海外の学会での発表あるいは留学する日本人若手研究者を公募し選考委員会において審査した結果、8 名に奨学金 20 万円を交付した。
 - (1) 五島 史行 (日野市立病院耳鼻咽喉科)
26th CINP congress (ドイツ・ミュンヘン) 2008 年 7 月 13 日~7 月 17 日
 - (2) 瀬野 悟史 (滋賀医科大学耳鼻咽喉科)
22nd ERS & 27th ISIAN (ギリシャ・アテネ) 2008 年 6 月 15 日~6 月 19 日
 - (3) 中島 正志 (金沢大学大学院感覚運動病態学)
Lineberger Comprehensive Cancer Center (米国) 留学期間 2009 年 3 月~ 2 年
 - (4) 佐藤 輝幸 (秋田大学医学部感覚器学講座)
Paparella Ear Head & Neck Institute (米国) 留学期間 2008 年 10 月~ 2 年
 - (5) 鈴木 立俊 (北里大学医学部耳鼻咽喉科学)
22nd ERS & 27th ISIAN (ギリシャ・アテネ) 2008 年 6 月 15 日~6 月 19 日
 - (6) 中山 明仁 (北里大学医学部耳鼻咽喉科学)
第 7 回国際頭頸部癌学会 (米国・ワシントン) 2008 年 7 月 19 日~7 月 23 日

(7)中川 貴博 (神戸大学医学部附属病院)

第7回国際頭頸部癌学会 (米国・サンフランシスコ) 2008年7月19日~7月23日

(8) 松本 宗一 (新日鐵広畑病院耳鼻咽喉科)

Karolinska University Hospital (スウェーデン) 留学期間 2008年9月~ 2年

6. SPI0 Award については、日耳鼻学会刊行の AURIS NASUS LARYNX (ANL) 35 巻に掲載された論文を選考委員会において審査した結果、京都府立医科大学の西尾健志氏に賞状と賞金 5000 ドルを贈呈した。表彰式及び講演は第 110 回日耳鼻総会・学術講演会 (21 年 5 月 15 日) において行われる。

7. 国際的調査および資料の収集を行う。

世界各国の耳鼻咽喉科学、耳鼻咽喉科臨床に関する情報収集の整備を行う。

8. ニュースレターNo.8 を発行した。

9. SPI0 出版について、宿題報告、業績集、各 1 部の編纂・打合せを行う。

10. ホームページの一層の充実をはかり、情報開示に努めた。

11. 寄附行為(定款)の施行細則ならびに諸規程を検討した。

12. 公益財団法人への移行準備を行う。